

高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究

平成19年度査定額

207,748千円

1 趣 旨

近年、若者が職業について考えたり選択・決定を先送りする傾向、いわゆるモラトリアム傾向や進路意識や目的意識が希薄なまま進学する者の増加が指摘されている。特に、この傾向は、高等学校の普通科において強いのではないかとされている。

また、若者自立・挑戦戦略会議をはじめ、各種会議・提言等において、総合人材育成施策としてのキャリア教育の推進が重要である等と盛り込まれているところ。

そのため、高等学校、特に普通科高校におけるキャリア教育を充実するため、①高等学校におけるキャリア教育、②高等学校卒業生及び中退者への各支援の在り方について検討すること、などを調査研究課題とした事業を実施する。

2. 要求内容

(1) 高等学校におけるキャリア教育の在り方について

- ・キャリア教育フェアの開催
- ・キャリアカウンセラーの配置

約200校
等

(2) 高等学校卒業生及び中退者への支援の在り方について

- ・高等学校卒業生及び中退者支援会議

全国47地域

(3) 高等学校教育のキャリア教育の充実についての調査研究

- ・高等学校の現状・課題の検証
- ・高等学校におけるキャリア教育の改善・充実方策

等

高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究

平成19年度査定額 208百万円

【課題】

- ・目的のないまま進学・就職する者
- ・高等学校卒業後就職も進学もしない者
- ・高等学校における学力偏重指導(出口指導) 等

【内容】

- ①高等学校段階におけるキャリア教育の充実
- ②高等学校卒業者及び中退者への支援の在り方について

①高等学校におけるキャリア教育の充実

高等学校



○調査研究協力校の指定

(調査研究内容)

- ・キャリア教育の専門的知識を有する人材の配置方法、役割等活用方策の検討
- ・キャリア教育の指導方法、指導内容の改善・充実
- ・キャリア教育の評価及び生徒の評価
- ・インターンシップの推進
- ・校内体制づくりと外部組織との連携 等



連携
協力

【経済産業省】

- ・技術者等を小・中学校に派遣
- ・経済団体への協力依頼・周知

【厚生労働省】

「キャリア探索プログラム」
企業人等働く者を講師として学校に派遣し、働くことの意義などの講話を行うとともに、生徒との意見交換等を行う。
「ジュニアインターンシップ」
ハローワーク等が中心となって働く体験の機会付与

②高等学校卒業後及び中退者への支援方策の検討

就職

進学

中退等その他

教育委員会
・学校

地元経済団体

PTA等

